



ナビゲーターってなに？

6回目をむかえる「夏休み子どもワークショップ」には、23人の小学生が参加してくれました。ことしのテーマは「ナビ」です。ナビゲーションとは、いまいる場所から目的地まで確実に行く方法のことで、それを教えてくれる道具や人がナビゲーターです。

いまでは、人工衛星の助けをかりて、現在位置も世界中の正確な地図も簡単に手にいれることができますが、むかしはそうではありませんでした。それにもかかわらず、われわれの祖先は、星や海流、山のかたち、鳥や魚の群、においなど、自然のかすかな変化をつぶさに観察し、それをたよりに、おどろくほど遠くまで迷わずに旅していたのです。

このワークショップでは、とても広い民博の展示場を大自然のかわりにして、そんなナビゲーションをやってみようと考えました。展示場のナビをつくることで、子どもたちが展示物をよく見て、民博の展示に、それぞれ新しい発見をしてくれたらと思っています。

(博物館民族学研究部 山本 泰則)



友だちをしょうかい
しよう！

いつもとはちがった入口からてんじ場へ



スタッフから
ひとつことふたこと



スティック
←チャート

みんなナビ作りがんばれ！
明日にはどんな物ができかな？
楽しみにしています。

何をその判断のたすけ？
自分の行き方ってどこ？
自分の見たいものは？
行き方を画う 香川治男



てんじ場にクギづけ

今日やったこと

おアニアの海図に調味シンジン？
エエ、みんなのみんなくナビは
どんなモノがでるかな
楽しみ下こー

今日はみんなとみんなくの中を
歩きましたね。明日はどんな周りに
なるでしょう？
ハレフアイとまみせやさんごことした
かわらぬことかゆがどした。

元気なみんなに、147-を
もらって(取らなくて)自分もとても楽し
い時間をすごした。
明日もみんなくナビを作ってくれ！！
たのしみ

今日は
たくさん迷ったよ
でもナビができたら
もうだいじょうぶだ
みんなくナビ

みんなく
民博を
いっぱい歩くと
ハラハリハリハラ
ようこそわがばやし

スタッフ

山本 泰則 (やまもと やすのり) 博物館民族学研究部
日高 真吾 (ひだか しんご) 博物館民族学研究部
宇治谷 忠 (うじたに めぐむ) 学習支援室
青柳 千子 (あおやぎ ちこ) 学習支援室
山村 規子 (やまむら のりこ) 学習支援室
加藤 謙一 (かとう けんいち) 広報普及室

伊藤 仁 (いとう ひとし)
岡崎 美穂 (おかざき みほ)
岡中 喜美 (おかなか よしみ)
河津 朋美 (かわづ ともみ)
坂本 真由美 (さかもと まゆみ)
鈴木 寛子 (すずき ひろこ)
樋口 祐美 (ひぐち ゆみ)
宮田 治男 (みやた はるお)
若林 葉子 (わかばやし ようこ)

- 10:00 集合・受付
- 10:30 ワークショップスタート！
なにをするの？(内容説明)
みんなであいさつ(他者紹介)
- 11:00 てんじ場をひとめぐり(展示場内漂流)
- 12:15 お昼やすみ
- 13:15 「ナビ」ってなに？(「ナビ」の説明)
- 13:45 これ、「ナビ」！？
(スタッフが作ったナビの紹介)
- 14:00 「みんなくナビ」をつくろう！
(ナビ作りスタート)
- 15:30 あとかたづけ
いったんおわり
- 16:00 解散！

夏休み子どもワークショップHP
<http://www.minpaku.ac.jp/kodomo-ws/>

編集・発行「夏休みワークショッププロジェクト」

また明日！

